

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		児童館母親クラブ活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木 洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	榮 峰男
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2153
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市地域組織活動育成事業補助金交付要綱		
	1	3	2	4	10589		成果優先度評価結果	10	
							コスト削減優先度評価結果	6	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	児童館母親クラブの活動に対して補助する。(地域組織活動育成事業) ①親子及び世代間の交流、文化活動を行う ②児童養育に関する研修活動を行う ③児童の事故防止等活動を行う の3つの活動条件が必須 母親クラブは、各児童館の開館に併せて結成しているが、母親クラブに対しての活動助成は、平成9年6月5日に国の児童手当法のなかの「児童環境づくり基盤整備事業」により実施されている。 核家族化等の理由により、子どもを保育所等に預けていない若いお母さんの育児に対する不安や孤独感といった悩みや心の病気等が増えていることもあり、母親の精神的負担の軽減のための仲間づくりや子育てに関する情報収集の場としての母親クラブの存在は大きく申し込みが増えている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①補助金交付申請書(添付:事業計画書、収支予算書)の受付、審査 ②補助金決定伺い ③補助金決定通知書 ④補助金支払(支出負担行為、支出命令書) ⑤実績報告書(添付:事業報告書、収支精算書)
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	本事業の主旨はである児童の健全育成を図るため、母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動促進を図る団体への補助であるが、本市では、児童館を中心に活動する母親クラブ等に補助しているものの、なかなか人材の確保や育成が難しい。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
児童館を中心に活動している母親クラブに対し活動助成を行った。	児童館を中心に活動している母親クラブに対し活動助成を行う。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 母親クラブ数	団体
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
子育てに興味のある地域住民	⇒ア 市内の人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
児童の健全育成を図る地域活動の推進ができる。	⇒ア 母親クラブへ登録者数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
団体への補助事業であるが成果指標として母親クラブへの登録者数として設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 団体		3	3	3	3	3	3	3
⑤ 対象指標	ア 人			54407	54600	54856	54800	54800	54800
⑥ 成果指標	ア 人		115	237	240	280	250	250	250
事業費	国庫支出金	千円	360						
	都道府県支出金	千円		300	240	240	240	240	240
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円	180						
	一般財源	千円		150	120	120	120	120	120
	(A) 事業費計	千円	540	450	360	360	360	360	360
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	30	50	30	30	30	30	30
(B)人件費計	千円	119	200	119	119	119	119	119	
トータルコスト(A)+(B)	千円	659	650	479	479	479	479	479	

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	児童館母親クラブ活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	児童館付きの地域組織(母親クラブ)であるため、それぞれの館の児童厚生員が指導しながら活動したため、達せたと考える。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	それぞれの館の児童厚生員が指導をしながら活動するため目標の達成見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	国の規定する事業であるため、国にゆだねられている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	他に類似事業が無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	県の定める活動条件を満たした上での補助事業であり、補助基準額が県で定められている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	当該事業については、補助事務だけであるため現在が最低業務時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	児童館によっては、お断りやキャンセル待ちも一部あるが、他の児童館の母親クラブを紹介する等して対応していくので、現状、公平性である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	地域の子育てボランティアの育成であるため、行政が補助や指導することで育成できるため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>各地域組織とも活発な活動が出来ている。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>地域の子育てボランティアの育成が地域づくりの一端を担うと考えるため引き続き事業を実施する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

核家族化等の理由により、子どもを保育所等に預けていない若いお母さんの育児に対する不安や孤独感といった悩みや心の病気が増えていることもあり、母親の精神的負担の軽減のための仲間づくりや子育てに関する情報収集の場としての母親クラブの存在は大きい。また、最近では父親の参加、親子、親同士のつながりも重要視されていることや地域ぐるみで子育て支援の意識の共有や向上が必要であるため、補助だけでなく児童厚生員を通じた指導を行っていく。